

◆特別勘定に関する指標等

① 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2018年度末		2019年度末	
	金額		金額	
個人変額保険	60,316		53,327	
変額個人年金保険	168,836		85,491	
団体年金保険	600,368		587,306	
特別勘定計	829,521		726,126	

② 個人変額保険及び変額個人年金保険特別勘定の状況

a. 2019年度の運用状況

国内外の株式相場については、年度前半は米中通商協議に対する警戒感から上下する展開となりました。年度後半は米中通商協議進展への期待や、FRB（米連邦準備制度理事会）による緩和的な金融政策、堅調な米国の経済指標による景気回復期待の高まりを背景に上昇基調で推移しましたが、年度末にかけて新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化懸念から大幅に下落しました。国内の長期金利については、年度前半は米中通商協議に対する警戒感から低下しましたが、年度後半はその後の協議進展への期待や、日本銀行の利下げ見送りを背景に上昇しました。米国の長期金利については、FRBによる緩和的な金融政策を背景に低下基調で推移し、年度末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化懸念から大幅に低下しました。為替（ドル円）については、年度前半は米国金利の低下や、米中通商協議に対する警戒感から円高ドル安で推移しましたが、年度後半は株価の上昇に連れて円安ドル高で推移しました。

こうした環境のなかで、個人変額保険特別勘定については、国内外の株式の構成比をやや高めて国内外の債券の構成比を抑えることを基本に運用しました。また、株式相場の上昇局面では国内株式・外国株式の一部売却を、逆に相場下落局面ではその後の反発を見込んで買い入れを行いました。その結果、当年度の運用利回りはマイナスとなりました。変額個人年金保険のうち自社で運用する特別勘定については、基本資産配分並みの構成比を基本としつつ、相場の見通しに応じ構成比の調整を行いました。なお、為替ヘッジ付外国債券については、投資妙味を勘案した結果、配分は行わず、国内債券のみで運用を行いました。その結果、当年度の運用利回りはマイナスとなりました。変額個人年金保険のうち投資信託を主な投資対象とする特別勘定については、投資信託の組入れ比率を概ね高位に保ちました。

b. 保有契約高

●個人変額保険

(単位：件、百万円)

区 分	2018年度末		2019年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険(有期型)	60	257	33	130
個人変額保険(終身型)	50,886	263,369	49,422	256,028
合 計	50,946	263,626	49,455	256,158

(注) 保有契約高には、定期保険特約部分を含みます。

●変額個人年金保険

(単位：件、百万円)

区 分	2018年度末		2019年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額個人年金保険	162,312	396,759	130,672	291,905

c. 特別勘定資産の内訳

●個人変額保険

(単位：百万円、%)

区 分	2018年度末		2019年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	1,077	1.8	2,530	4.7
有価証券	56,955	94.4	49,058	92.0
公社債	16,315	27.0	17,215	32.3
株 式	17,252	28.6	13,198	24.7
外国証券	23,387	38.8	18,644	35.0
公社債	5,598	9.3	6,151	11.5
株式等	17,789	29.5	12,492	23.4
その他の証券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
その他	2,284	3.8	1,738	3.3
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	60,316	100.0	53,327	100.0

●変額個人年金保険

(単位：百万円、%)

区 分	2018年度末		2019年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	3,953	2.3	7,937	9.3
有価証券	155,941	92.4	72,918	85.3
公社債	43,972	26.0	33,694	39.4
株 式	15,330	9.1	9,761	11.4
外国証券	28,400	16.8	24,753	29.0
公社債	24,524	14.5	21,713	25.4
株式等	3,876	2.3	3,039	3.6
その他の証券	68,237	40.4	4,709	5.5
貸 付 金	—	—	—	—
その他	8,941	5.3	4,635	5.4
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	168,836	100.0	85,491	100.0

d. 運用収支状況

●個人変額保険

(単位：百万円)

区 分	2018年度	2019年度
	金額	金額
利息配当金等収入	1,247	1,080
有価証券売却益	2,558	3,244
有価証券償還益	—	0
有価証券評価益	8,466	6,620
為替差益	12	29
金融派生商品収益	90	148
その他の収益	2	2
有価証券売却損	1,197	1,881
有価証券償還損	10	26
有価証券評価損	9,688	11,546
為替差損	4	11
金融派生商品費用	188	208
その他の費用	0	0
収支差額	1,289	△ 2,549

(注) 2018年度の有価証券評価益 8,466百万円には有価証券振戻益 1,253百万円が、有価証券評価損 9,688百万円には有価証券振戻損 7,610百万円がそれぞれ含まれています。
2019年度の有価証券評価益 6,620百万円には有価証券振戻益 2,078百万円が、有価証券評価損 11,546百万円には有価証券振戻損 7,213百万円がそれぞれ含まれています。

●変額個人年金保険

(単位：百万円)

区 分	2018年度	2019年度
	金額	金額
利息配当金等収入	15,793	25,648
有価証券売却益	5,304	2,983
有価証券償還益	0	2
有価証券評価益	33,888	6,557
為替差益	166	95
金融派生商品収益	978	312
その他の収益	7	8
有価証券売却損	1,080	682
有価証券償還損	10	10
有価証券評価損	49,302	34,489
為替差損	153	90
金融派生商品費用	711	145
その他の費用	494	732
収支差額	4,385	△ 541

(注) 2018年度の有価証券評価益 33,888百万円には有価証券振戻益 1,566百万円が、有価証券評価損 49,302百万円には有価証券振戻損 48,173百万円がそれぞれ含まれています。
2019年度の有価証券評価益 6,557百万円には有価証券振戻益 1,129百万円が、有価証券評価損 34,489百万円には有価証券振戻損 32,322百万円がそれぞれ含まれています。

e. 有価証券等の時価情報

●売買目的有価証券

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区 分	2018年度末		2019年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	56,955	5,135	49,058	208

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区 分	2018年度末		2019年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	155,941	31,193	72,918	3,261

●金銭の信託の時価情報

<個人変額保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

f. デリバティブ取引の時価情報

●差損益の内訳(ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳)

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区 分	2018年度末						2019年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘッジ会計非適用分	—	—	—	—	—	—	—	△ 0	7	—	—	7
合 計	—	—	—	—	—	—	—	△ 0	7	—	—	7

(注) ヘッジ会計非適用分の差損益は、損益計算書に計上されています。

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区 分	2018年度末						2019年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘッジ会計非適用分	—	—	10	—	—	10	—	0	11	—	—	11
合 計	—	—	10	—	—	10	—	0	11	—	—	11

(注) ヘッジ会計非適用分の差損益は、損益計算書に計上されています。

●金利関連

<個人変額保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

●通貨関連

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2018年度末			2019年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	為替予約								
	売建 (米ドル)	—	—	—	—	—	0	0	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	0	0	
	買建 (米ドル)	—	—	—	—	—	△0	△0	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	△0	△0	
合計									

(注) 1. 年度末の為替相場は先物相場を使用しています。

2. 外貨建金銭債権債務等が為替予約が付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象より除いています。

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2018年度末			2019年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	為替予約								
	売建 (米ドル)	—	—	—	—	—	0	0	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	0	0	
	買建 (米ドル)	—	—	—	—	—	△0	△0	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	△0	△0	
合計									

(注) 1. 年度末の為替相場は先物相場を使用しています。

2. 外貨建金銭債権債務等が為替予約が付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象より除いています。

●株式関連

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2018年度末			2019年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	株価指数先物								
	売建	—	—	—	—	—	—	—	
	買建	—	—	—	—	—	7	7	
合計									

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2018年度末			2019年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	株価指数先物								
	売建	684	—	3	3	—	—	—	
	買建	468	—	6	6	781	11	11	
合計									

●債券関連

<個人変額保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

●その他

<個人変額保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2018年度以降期末残高がないため、記載していません。

③ 団体年金保険特別勘定の状況

a. 団体年金保険特別勘定特約の受託状況

(単位：件、億円)

	2018年度末		2019年度末	
	件数	時価残高	件数	時価残高
第1特約	1,446	5,991	1,447	5,836
第2特約	—	—	—	—
合計	1,446	5,991	1,447	5,836

(注) 1. 件数は、各年度末に時価残高のある団体数です。
2. 特別勘定第1特約は、複数の団体年金のご契約資金を合同運用しています。特別勘定第2特約は、年金資産を個々のご契約ごとに単独運用しています。

b. 特別勘定第1特約(総合口A)の状況

●基本ポートフォリオおよび2019年度運用計画

(単位：%)

(単位：%)

	長期基本ポートフォリオ			
	構成比	レンジ	期待収益率	標準偏差
国内債券	33	13～53	0.50	2.39
国内株式	27	12～42	5.80	18.15
外国債券	13	3～23	2.70	10.80
外国株式	25	10～40	6.50	19.51
現預金等	2	—	0.10	0.06
合計	100	—	3.71	9.50

	2019年度運用計画		
	計画構成比	期待収益率	標準偏差
国内債券	32	△0.51	1.67
国内株式	28	7.26	16.98
外国債券	12	2.34	8.87
外国株式	26	7.67	17.81
現預金等	2	0.00	0.02
合計	100	4.14	9.54

●運用実績の推移

(単位：%)

	2018年度			2019年度		
	運用実績	市場収益率	超過収益	運用実績	市場収益率	超過収益
国内債券	1.92	1.89	0.03	△0.05	△0.18	0.13
国内株式	△6.09 (△6.46)	△5.04	△1.05	△11.52 (△11.69)	△9.50	△2.02
外国債券	2.31	2.46	△0.15	4.51	4.37	0.14
外国株式	10.31	10.14	0.17	△12.01	△12.42	0.41
現預金等	△0.06	△0.06	0.00	0.55	△0.05	0.60
合計	1.67	2.37	△0.71	△5.95	△5.12	△0.84

(注) 1. 運用実績には先物ポジションを反映しております。先物ポジションを含まない数値を()内に記載しております(先物証拠金、先物評価損益等は含む)。
2. 各資産の運用実績は時間加重収益率、合計の実績はユニット価格伸び率を掲載しております。
3. 現預金等の時間加重収益率には、外国資産売買約定時の「外貨未収・未払金」に係る為替差損益の影響が含まれております。これは約定日の為替レートと資金受渡しの為替レートを比べて変動した部分が現預金等の時間加重収益率として計上されるものです。
4. 各資産の市場収益率は、各市場の動きを表す代表的な指数の騰落率です。
5. 合計の市場収益率は、各資産の市場収益率を各年度計画構成比で加重した値です。

●2019年度運用状況

- ・2019年度の運用実績は△5.95%となり、年度運用計画をもとにした市場収益率の△5.12%を下回りました。
- ・資産配分の面では、年度運用計画より内外債券の構成比を低め、外国株式の構成比を高めて運用したことがマイナスに寄与しました。
- ・個別資産の面では、国内株式が市場収益率を下回ったことがマイナスに寄与しました。

●資産別時価残高の推移

(単位：百万円、%)

	2018年度末		2019年度末	
	時価残高	構成比	時価残高	構成比
国内債券	50,395	30.4	45,728	30.5
国内株式	48,961	29.5	34,245	22.8
外国債券	15,250	9.2	16,134	10.8
外国株式	45,586	27.5	39,112	26.1
現預金等	5,791	3.5	14,790	9.9
合計	165,986	100.0	150,010	100.0

c. 特別勘定第1特約(総合口S)の状況

●運用実績

(単位：%)

2018年度	2019年度
1.66	0.98

●時価残高

(単位：百万円)

2018年度末	2019年度末
155,290	170,102

(注) 実績は、ユニット価格伸び率を掲載しております。

●2019年度運用状況

- ・市場環境を踏まえ、資産ごとの価格変動性に着目した資産構成比の調整や、価格下落リスクが高いと判断した資産のキャッシュ化を行うなど、機動的に資産配分を変更しました。
- ・2019年度の運用実績は0.98%となりました。